

授業改善等に関する報告書（2019年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
バイオテクノロジー概論	阿尻 貞三	わかりやすかったと思うのですが。
給食経営管理 a	山岸 博美	日頃聞きなれない専門用語が多く、理解が困難な場合もあったかと思えます。 今後授業の最後に小テストを行い、毎回の学びの確認をしていきたいと考えています。
生化学実験	中村 彰男	生化学実験お疲れさまでした。 大変だったでしょ！結構難しい実験をよく頑張ったと思います。 説明不足な部分はお許し下さい。 でも実験は座学と違いもっとも皆さんの「主体性」を引き出せるアクティブラーニングです。私は皆さんに主体的に考えて欲しいために難しい課題をたくさん出しました。 中には答えがないものもあります。実験で観察された自然現象なんてそんなものです。 この実験は別に研究者になる為にしているのだけでなく、この実験を通じて自分で観察して、疑問に思い、問い続けることが社会に出てからも役立つと僕は考えています。 皆さんが少しでも生化学実験を通して、洞察力や思考力を主体的に引き出すことにつながれば僕は幸せです。
臨床栄養学実習 a	松島 照彦, 佐々木 溪円	実技はもとより、実習を通じて患者さんの気持ちが良く分かり寄り添えるようになったとすれば何よりです。
臨床栄養管理学各論	高橋 加代子	皆様のご意見を参考に、来年度の学生に反映して授業を行いたいと思えます。 パワポのご指摘、もっともですね。ありがとうございます。
食品加工学 b	秋田 修	回答率が約78.5%であり受講生全体の評価と考えられます。ほぼ全ての評価項目において平均より低くなっていました。授業のスピードが速すぎたこと根本にあるように思えます。そのためわかりにくい、声が聞き取りにくいという評価につながったようです。もう少し丁寧な説明を心がけるべきでした。ただ、総合的満足度では平均値であったので大きな不満はなかったかと判断しました。毎回、講義内容に関連する国試問題を練習問題として出題しmanabaに解答とその解説を掲載したことにより、他の科目でのmanaba利用率より高い結果となっています。国試受験の一助になったのであれば幸いです。定年となり反省点を活かすことができないことをお詫びします。
食事摂取基準論	長谷川 めぐみ	分かりやすい講義、資料の準備に尽力したいと思います
公衆栄養学 a	森川 希	本年度は、予習・復習をすすめるやすくなるための穴埋めプリントを作成しました。アンケートの自由記述で、その感想を伺いましたが、概ね好評でした。しかしながら、「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対しては、「まあまあ理解できた」「ほぼ理解できた」を合わせて約半数であり、必ずしも授業の理解度には直結していないようです。予習・復習の時間は必ずしも増えていないので、プリントがあることでかえって表面的な学習にならないよう、留意したいと思います。
臨床医学概論	松島 照彦	宿題は大変だったかも知れませんが、理解が深まって良かったという意見が多かったので良かったと思います。これからも国試科目については過去問を解いて実力を付けていって下さい。
ライフステージ栄養学 a	於保 祐子	妊婦・授乳婦・乳幼児・学童・思春期について栄養摂取上の特性と問題点について学びました。特に胎児・乳幼児期の栄養状態が後の生活習慣病発症の要因になります。人の一生に影響を与えるこの時期の栄養について、今後も実習等を通じて深く学修してください。
食品衛生学実験	井部 明広	実験操作は必ず見せてから、実際に自らの手で実験してもらっている。操作はほとんどの人が理解できているようだが、その原理については考えていない人も多い。この授業に満足するかしないかは、頭で考えて手を動かすことが必要です。原理をわかりやすく説明したいと思う。
栄養教育論実習 b	辛島 順子	実習では、2年次に学修したライフステージに応じた栄養教育について、実際の栄養教育の場面における計画立案や教育の実施・展開をグループワークを通して学びました。 「栄養教育に関する実践的な力が身についた」「様々なライフステージの方に対するアプローチ方法のレパートリーが広がった」等のコメントがありましたので、今後も実習の内容は継続してしていきたいと考えています。
食品学 a	奈良 一寛	授業の理解度を向上させるためにも、予習の課題設定について検討していきたい。

[2019（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
調理学	中川 裕子	全体的な理解度や満足度は、ほぼ良好であった。 コメントより、教室の空気がこもっていた、後ろからは見にくい点があったので、教室の環境やスライドの見やすさについて更なる改善を行う。また、小テストの内容が難しかったという意見も数名あった。復習かつ家庭での学習時間をもつような内容を検討していく。前期に行った実習の内容とリンクさせたり、動画を用いた説明はわかりやすかったようなので、今後も続けていきたい。
スポーツ栄養学 b	奈良 典子	ご意見を参考に、今後の授業に反映していきます。
感染と防御	佐々木 溪円	「あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？」について15%が「時々理解できなかった」と回答がありました。私の方は、この割合が減るように改善します。理解できなかった箇所がある人は、「イラストでわかる微生物学超入門」などの基本事項が記載されている書籍で復習してみると良いと思います（この電子書籍を図書館に入れてあります）。
生化学 b	中村 彰男	前期の生化学aより少し難しかったかも知れませんが、身体の中の生体システムを化学の目で理解することができたと思います。覚えることよりもできるだけ分かり易く理解することができるように努めました。ただの暗記だと試験が終われば直ぐに忘れませんが、システムを理解していれば、4年生の国試対策ではもう一度復習する際にきっと役に立つと思います。みなさんが楽しみながら講義ができて良かったです。
栄養教育各論 b	辛島 順子	「栄養教育各論b」では、ライフステージ別の栄養教育を中心に学びました。 昨年度までは、設問の「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？」が当該区分平均を下回っていましたが、配布資料の内容や印刷方法を変更したことが、今年度の評価の向上につながったようです。「双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていきましたか？」については、皆さんの課題に対するフィードバックを充実させる方向で検討していきます。 3年次の「栄養教育論実習 b」においては、「栄養教育各論 b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを総合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
臨床栄養学 b	松島 照彦	宿題の量が多くて大変だったかも知れませんが、理解が深まって良かったという声が多かったので良かったと思います。他の科目も過去問に挑戦して分からないところを纏めていきましょう。
感染と防御	佐々木 溪円	「あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？」について約15%が「時々理解できなかった」と回答がありました。私の方は、この割合が減るように改善します。理解できなかった箇所がある人は、「イラストでわかる微生物学超入門」などの基本事項が記載されている書籍で復習してみると良いと思います（この電子書籍を図書館に入れてあります）。 また、自由記載についても、授業改善のために参考になるコメントがありましたので活用します。
生化学 b	中村 彰男	前期の生化学aより少し難しかったかも知れませんが、身体の中の生体システムを化学の目で理解することができたと思います。覚えることよりもできるだけ分かり易く理解することができるように努めました。ただの暗記だと試験が終われば直ぐに忘れませんが、システムを理解していれば、4年生の国試対策ではもう一度復習する際にきっと役に立つと思います。みなさんが楽しみながら講義ができて良かったです。講義の中でカタカナが多かったとのコメントがありましたが、和訳できないものも多くてわからなければ遠慮なく聞くことが大切です。私への質問はメール、毎回の講義の最後のリアクションペーパー、直接、聞きに来る学生も沢山いました。質問の機会は多く準備したつもりです。他の講義でも自分で調べてわからないことは聞くことが大切です。2年生も頑張ってくださいね。
栄養教育各論 b	辛島 順子	「栄養教育各論b」では、ライフステージ別の栄養教育を中心に学びました。 昨年度までは、設問の「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？」が当該区分平均を下回っていましたが、配布資料の内容や印刷方法を変更したことが、今年度の評価の向上につながったようです。課題に取り組むことで、理解が深まるとともに試験対策にも活用できたという意見が複数ありましたので、今後も課題を継続したいと考えています。「双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていきましたか？」については、皆さんの課題に対するフィードバックを充実させる方向で検討していきます。 3年次の「栄養教育論実習 b」においては、「栄養教育各論 b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを総合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
臨床栄養学 b	松島 照彦	宿題の量が多くて大変だったかも知れませんが、理解が深まって良かったという声が多かったので良かったと思います。他の科目も過去問に挑戦して分からないところを纏めていきましょう。

[2019（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
食事計画演習	山岸 博美	初めての献立作成は大変だったかと思えます。しかし、献立作成力は一日にして成らずです。次年度も引き続き一緒に学んでいきましょう。
食品学実験 b	杉山 靖正	回答率が低いと、正確なことはわからないが、おおむね満足であったことが窺える。よく理解できたようであるが、レポート作成にもう少し時間を要して欲しいことから、今後は課題等について検討します。
栄養疫学実習	森川 希	毎年、「難しい内容だった」との感想コメントを多くいただく科目です。今年度も同様でしたが、例年より試験はよくできていました。疫学指標の計算は、手順そのものよりも指標の意味を理解することが最終目標です。全員がもれなく理解できる授業を目指して、今後は課題や配布資料の内容をバージョンアップしていきたいと思えます。
食品学実験 a	奈良 一寛	配布資料を工夫するなど、操作手順について詳しくまとめるようにしたい。
特別講義 c	辛島 順子, 高橋 加代子	特別講義Cでは、これまでの4年間で学んだ内容のうち、栄養食事指導や栄養管理、栄養教育についてを重点的に学修する内容としました。これらは、今後社会で管理栄養士として活動する上で、職域に関わらず、重要な内容となります。講義のスピードや配布資料など、改善を要する指摘がありましたので、担当教員間で十分に協議・連携し、改善に努めます。
食事計画演習	山岸 博美	初めての献立作成は大変だったかと思えます。しかし、献立作成力は一日にして成らずです。次年度も一緒に学んでいきましょう。
総合演習 a	於保 祐子, 中村 彰男	栄養学の基礎分野の総まとめを行いました。基礎的は生化学分野の復習から人体での栄養素の働きまでわかっていただけたと思えます。習得した栄養についての基本的な考え方を、今後のステップでも役立ててください。 国試お疲れさまでした。基礎栄養学や生化学は暗記科目ではなく理屈がわかるとおもしろい学問であることがわかっていただけた学生さんも多くいたので嬉しかったです。卒業してからも一生勉強は続きます。楽しみながらいろいろな問いにチャレンジしてみてください。
栄養教育総論	辛島 順子	「栄養教育総論」では、実際に栄養教育を行うさまざまな場や栄養教育を行うための基礎的な知識や態度、スキルについて学びました。科目の特性上、講義で使用する1枚当たりのスライドの文字数が多くなりますが、内容を再度検討し、改善します。また、「双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていきましたか？」については、皆さんの課題に対するフィードバックを充実させる方向で検討します。2年次からの専門科目でさらに具体的な内容を学ぶ際に、この科目で学んだ内容を思い出し、より深い学びにつなげてください。
公衆衛生学 b	佐々木 溪円	「参加型授業が良かった」「外部講師が良かった」というコメントがありました。これは私が企画することよりも、「授業に積極的に参加した」ことにより得られる感想だと思います。これからも、積極的に授業に参加してください。 約25%の人が「予習時間なし」だったこと、自由記載コメントで「配布物で空欄になっている部分の文字が読みにくい」という意見があったことなど、改善していきます。
特別講義 b	井部 明広, 杉山 靖正, 中川 裕子	新しい知識ではない。もう一度確認、反復することで自分のものにしてほしい。予習、復習そして問題集に取り組むことが大事です。
栄養教育総論	辛島 順子	「栄養教育総論」では、実際に栄養教育を行うさまざまな場や栄養教育を行うための基礎的な知識や態度、スキルについて学びました。科目の特性上、講義で使用する1枚当たりのスライドの文字数が多くなりますが、内容を再度検討し、改善します。また、「双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫がされていきましたか？」については、皆さんの課題に対するフィードバックを充実させる方向で検討します。2年次からの専門科目でさらに具体的な内容を学ぶ際に、この科目で学んだ内容を思い出し、より深い学びにつなげてください。
食品分析学	杉山 靖正	回収率は低いものの、アンケートからは本授業に対して満足であったことが窺える。しかし、予習復習している学生数が少ないことから、今後は定期的な学習に繋がる課題等を検討します。

[2019（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特別講義 d	森川 希, 佐々木 溪円	（佐々木溪円）授業でも何度かお話しましたが、ほとんどの人にとって「公衆衛生の丸暗記は苦行」です。「この制度って、すごいな」「簡単な覚え方を探そう」などと、楽しんで取り組んでみましょう。 なお、新型コロナウイルス感染症でメディアが騒いでいますが、日本のようにユニバーサル・ヘルス・カバレッジが推進できている国では、過剰な不安は必要ありません。通常の冬の呼吸器感染症対策（インフルエンザ、感冒など）で充分ですから、栄養・休息もしっかり摂って、試験に備えてください。
給食マネジメント実習	山岸 博美	朝早い実習で、大変だったかと思います。しかし、給食経営管理だけでなく、体調管理や時間厳守の大切さなど多くの学びがあったかと思います。この学びを活かし、臨地実習に望んでください。
基礎調理 1	佐藤 幸子	基礎調理 1 は、管理栄養士としての最も重要な基本技術です。復習をいつでも、実践できるように調理技術の練習を継続してください。期待しています。
食品衛生学 b	井部 明広	授業はシラバス通り、また、教科書に沿って今回の授業範囲を伝えているので、予習をしてきてほしい。興味と理解が深まると思う。
ライフステージ栄養学実習	高橋 加代子, 奈良 典子	学生からの意見を参考に、授業に反映したいと思います。 特に、資料に関しても参考にします。口調、音声、肝に銘じます。
公衆栄養学実習 a	森川 希	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。 蓄尿による食塩摂取量の測定や、食事調査、地域の健康増進計画の調査など、実践的な内容については好評価でした。 質問紙調査の結果をまとめる作業は、今後の卒論調査や卒業後の業務にも直結することから、昨年より作業時間数を増やし、集計や作図の手順ひとつひとつを確認してからの各自作業という流れに変更しています。学生の皆さんのレポートの質は年々向上していると感じます。今後も実習内容の改善を重ねていきたいと思っています。